

公益社団法人日本技術士会東北本部 岩手県支部事業活動報告

事業名	研究成果普及活動
委員会・研究会名	建設 ICT 生産システム研究会
日時	令和元年 10 月 30 日（1 回目）、11 月 13 日（2 回目）：13：30～17：00
場所	岩手県立大学 地域連携棟 2F（1 回目）、宮古キャンパス（2 回目）
参加人数等	一般 30 名（2 回合計）

活動内容

【講演の概要】

講習会名：高度技術者養成講習会

主催：岩手県立大学

趣旨：岩手県内の技術水準の向上によるイノベーション創出

内容：講演「河川災害を例として～建設 ICT 生産システム研究会～」

講師：安野研究会代表

【これまでの経緯】

岩手県立大学では“岩手県内の技術水準の向上によるイノベーション創出を目的に、企業の技術者や学生がハードウェアや、ソフトウェア、ものづくりのプロセス等を理解し、新製品・新技術開発に多方面から関与できるように、今後の高付加価値・高効率型ものづくりに不可欠な先端技術テーマとし、座学と実習を組み合わせた形式を基本として講座を開催”（県立大 HP から抜粋）しています。

当研究会では、平成 29 年度より講座のひとつに講師として参加し、研究会活動とその成果の普及に努めています。

【講演】

今年度は 10 月 30 日（滝沢キャンパス）と 11 月 13 日（宮古キャンパス）の 2 回、合わせて 30 名の参加により行いました。

受講者は産学官の幅広い分野・業種の方々でしたが、県内では台風 19 号により多くの地域が被災した直後であったことから、その復旧に関する ICT 技術の研究と適用事例に強く興味を持って聴いていただきました。

今後も研究会活動を進めながら、その成果の普及を進めて行く予定です。



安野代表による講演

以上